

株式会社ウエダ					
業種	製造業	事業所所在地	奈良県北葛城郡広陵町	資本金	10,000千円
				従業員数	27名

 	被承継者（左）		
	上田 定央	69歳	※承継時
	承継者（右）		
	上田 航也	45歳	※承継時
事業承継を行った時期	被承継者と承継者の関係		
2016年11月	子ども		
承継前の主たる事業の内容	承継前の主たる事業の課題		
創業以来スポーツソックスのOEM生産	・新商品・新サービスの開発	OEMでの野球ソックス全国シェア40%を受けてきたが子供の少子化とともに競技人口の減少、近年スポーツメーカーも増え海外産に押されシェア率減少、野球以外の分野では国内に留まらず、MADE IN JAPANを売りに長年培ってきたノウハウ技術を海外に発信していくことで販路拡大・売上UPを目指す。	

事業承継を実行するまで		
きっかけは？	承継計画の立案	承継までの不安と準備
承継実行の1年前	被承継者と承継者で話し合ったこと	被承継者の承継に対する不安
先代の他界がきっかけとなり、継承以前から交流のあったスポーツトレーナーと人間工学に基づいた設計の3本指スポーツソックスを考案、各ターゲット層に合わせた3本指ソックスの制作、先代の築き上げてきた実績と職人の技術を活かし、それまでのOEMではなく自社ブランド『e-socks』構築を行う。	今後の会社への関わり方や経営方針と行動について。	特にない。
	関係者との調整	承継者の承継に対する不安
	特にない。	新事業を行い会社を成長させるか、OEMだけで販路を広げていくのか、受け継いだ会社を続けていくには今何が一番必要なのか、代替わりによって経営方針などが変わり従業員をまとめられるかなど多くの不安があった。

**これに一番苦労した！**

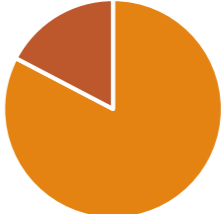
新社長（経営者）の考えと従業員の考えの温度差をどうコミュニケーションをとり合意形成していくかが、大きな課題でした。また、今までOEM事業しか行っていなかったため、自社のオリジナルブランドの立ち上げ方、広告の方法など全く無知の領域の為、経営コンサルタントにアドバイスしてもらいながらの立ち上げとなり、多くの方々から助けてもらい自社ECサイトの立ち上げができた。作業の効率化を図り生産性を高めるために、老朽化アナログではなくシステム化していくことを推進していく中で日々の流れを止めずどのように導入していくか、従業員の方々にデジタル化への誘導に時間がかかった。

事業承継について相談したこと	
相談した機関の業種	承継に関して受けたサポート内容
商工会・商工会議所	新規開拓先のビジネスマッチングの案内、紹介。加点となる認定の紹介。
いつから相談？	
承継実行の1年前	
相談のきっかけ	
以前から取引や付き合いがあった	

## 経営革新等に係る取組の標題

### 競合差別化と収益性改善への新商品開発事業

経営革新等に係る取組の内容	新商品の開発又は生産
<ul style="list-style-type: none"> <li>●当社は、創業以来、大手スポーツメーカーとスポーツソックスのOEM生産を行ってきた豊富な経験と長年培ってきたノウハウ、技術を活かして自社オリジナル商品となる「3本指ソックス（three grips）」を開発、サッカー・野球にとどまらず様々な競技に対して、それぞれの競技に合った素材で制作。</li> <li>●野球以外の分野では、技術を活かした「MADE in JAPAN」商品であることを海外に発信して販路拡大・売上向上を目指す。また、海外展開に向けての商標・意匠登録を行いオリジナルブランドを展開していく。</li> <li>●生産部門のシステム化を進めることで、生産性を高め、効率のよい商品を生産する環境を整える。</li> </ul>	
 	

地域経済やバリューチェーンへの貢献	補助対象経費の内訳
地域顧客へのサービス提供と地元の雇用、地域イベントへの参加。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 設備費</li> <li>■ 委託費</li> </ul> 
	経費の主な使い道
	設備費（靴下編機導入費） 委託費（設計・システム構築・雑誌掲載費等）

認定経営革新等支援機関の名称：広陵町商工会			
認定経営革新等支援機関から受けたサポート内容			
<input checked="" type="checkbox"/> 制度内容の理解	<input checked="" type="checkbox"/> 事業計画の立案	<input checked="" type="checkbox"/> 各種提出書類の作成	<input checked="" type="checkbox"/> 補助事業の実施
制度内容の解説、事業計画書等へのアドバイス。			

今後に向けて～次の目標	
2019年から2022年に向けて	自社ブランドの構築を中心に経営力向上を目指していく。国内に留まらず、MADE IN JAPANを訴求し、長年培ってきたノウハウ技術を海外に発信する。
売上高 20%UP	先代経営者時代からの大手スポーツメーカーとの取引で培ったノウハウと生産技術で様々なスポーツソックスを企画し、3本指を軸に様々な分野への挑戦をしていく。

これから事業承継に取り組む事業者の方へ	
被承継者からの一言コメント	承継者からの一言コメント
他界のためコメントなし。	後継者となられた方は、先代創業者の夢・意志そして理念を共有し、考えを共にしてくれる仲間と事業を発展させる努力を惜しまないでください。